



腹腔鏡下胆嚢摘出術を受けられる方へ

◆ 私たちは、入院生活や治療が順調に進むように下記の計画に基づき援助します。



お名前 様 主治医 受持ち看護師

日付	入院当日(手術前日)		手術当日		術後1日目	術後2日目	術後3日目	術後4日目
	/		術前	術後				
活動	安静度	制限はありません。	出来るだけ病室で過ごしてください。	帰宅後から翌朝の回診までベッド上で安静となります。手術6時間後よりベッドの頭を上げられます。	看護師、又は理学療法士が立会いのもと立つ練習をします。歩行できる範囲は、状況を見て看護師からお伝えします。	自由に歩行できます。	→	退院可能
	排泄			手術中に尿道カテーテルを入れます。(看護師が尿を計測・廃棄します)	尿道カテーテルを抜きます。	→	→	
	清潔	お臍の処置の後、シャワーに入ります。	朝起きたらいつも通り洗顔・歯磨きをして、入れ歯/装飾品を外しておいてください。		体を拭き・病衣を交換します。	シャワーに入れます。	→	
食事	常食がです。18時より経口補水液(OS-1)の服用が開始となります。夕食後はOS-1以外は摂取できません。	朝から絶飲食となります。OS-1は(午前入室の方)6時30分まで2本、(午後入室の方)10時まで3本の内服となります。	医師の指示があるまで絶飲食です。	朝6時から看護師見守りのもと水が飲めます。昼食から常食が出ます。		→		
検査	採血と胸腹部のレントゲン撮影を行います。			採血と胸腹部のレントゲン撮影を行います。				
処置	お臍の掃除と、手術部位の毛を剃ります。	朝6時に浣腸をします。洗面後、浴衣に着替え弾性ストッキングを履いてください。	・手術中から酸素マスクを装着します。 ・お腹にチューブが入る場合があります。 ・血栓予防として足にフットポンプをつけます。 ・術後、夕回診で創部を観察します。	・呼吸状態が安定していれば、朝6時に酸素投与を終了します。 ・腹部のチューブがある場合は抜けます(病状次第です)。 ・歩けるようになったらフットポンプと弾性ストッキングは外れます。	9時と17時に医師による回診があり、お腹の状態を観察します。	→		
注射		午後入室の方は点滴をする場合があります。		点滴は入ったままです。	点滴は終了です。針を抜きます。	→		
内服薬	入院後、お薬の内容を確認します。常用薬は指示があるまで内服してください。眠れないときは眠剤を内服できます。	医師より指示された薬のみ、6時に少量のOS-1で内服してください。看護師がお持ちします。	手術後、痛い時は痛み止めをお出しします。内服出来れば内服薬で、出来ない際は注射で投与します。	常用薬の内服を再開します。	→	→		
教育説明その他	入院後、看護師より手術オリエンテーションを行います。	ご家族の方は手術室入室の30分前までに、病室へおいでください。	ご家族の方は病棟でお待ち下さい。病棟を離れるときは看護師、またはクラークに声を掛けて下さい。手術が終了したら主治医よりご家族へ説明があります。看護師よりお知らせいたします。	つらい症状は我慢せず、医療者にいつでもお伝えください。	看護師より退院オリエンテーションを行います。			

この説明用紙は、治療のおおよその経過をお知らせするものです。状態に応じて予定が変更になることがあります。ご不明な点がございましたら、お気軽におたずねください。
千葉大学医学部附属病院 肝胆膵2018年2月改訂

